

平成21年度八尾市の未来を語るタウンミーティング

龍華小学校区（議事概要）

開催日時：平成21年9月19日（土）午後7時～8時30分

開催場所：龍華コミュニティセンター

参加者数：41名（男性29名、女性12名）

市出席者：田中市長、原副市長、阪口病院事業管理者、野村水道事業管理者、中原教育長

配布資料：

- ① 平成21年度八尾市の未来を語るタウンミーティング資料（パワーポイント内容）
- ② タウンミーティングでのご意見への対応状況について（平成20年度）
- ③ 龍華小学校区地域レポート
- ④ 市政運営方針（平成21年度）
- ⑤ がんばれ八尾応援寄附金案内チラシ
- ⑥ 路上喫煙防止に関するチラシ
- ⑦ 住宅用火災警報器設置に関するチラシ
- ⑧ 救急車の適正利用等に関するチラシ

1. コミュニティ推進スタッフ（司会）から昨年度のタウンミーティングの状況、地域レポート説明、地域での活動状況等の紹介

2. 市長から市政運営、次期総合計画の構成等についての説明：パワーポイント（配布資料①）

3. 意見交換

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 （平成21年10月現在）
① 天下りや不正経理について ○ 八尾市では天下りとかは、なくなったのでしょ	○ 八尾市を退職した人の再任用制度というのが	○ この度の市立教育サポートセンターでの公金

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
<p>うか。また、千葉県で不正経理が見つかったそうですが八尾ではどうなっていますか。</p> <p>○ 今、不景気で職を無くされている方が多いので、そういった方を募集されてはどうですか。</p>	<p>国で認められていますので、再任用職員を外郭団体に派遣をすることはあります。千葉県の留保資金等の問題ですが、私自身も大阪府議会でいろいろ経験をしていますので、私が市長に就任をしたときに全ての課でチェックをしました。その結果、留保資金等の不正経理はないということを確認しています。</p> <p>○ 再任用制度は、法律上決まっている制度です。再任用制度を無くすことになると、年金制度の問題等も考えていかなければなりません。</p>	<p>詐取事件につきましては、市政の公正な運営に努めるべき公務員として絶対にあってはならない行為であり、市民の皆様にご心からお詫びを申し上げます。一日も早く市民の皆様のご信頼を回復できるよう、また二度とこのような事態を引き起こさないよう、組織一丸となって、今後の再発防止を徹底し、日々の取り組みを積み重ねてまいります。</p> <p>○ 平成20年4月1日を基準日として本市全体につき総点検を行い、また、毎年1回、公金の管理・取り扱い・保管につき、厳正かつ適正に行われるよう出納員等の公金取扱者を対象として検査を実施し、公金の不正経理防止等に努めております。</p> <p>○ 満額年金支給開始年齢の引き上げという年金制度の改正による国の方針を受け、定年が60歳である本市においても平成14年度から定年退職者を再任用する制度をスタートさせています。また、再任用にあたっては、勤務成績を評価する選考を行っています。</p> <p>八尾市では、いわゆる“天下り”という実態</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
		<p>はありません。なお、外郭団体からの推薦依頼を受けた場合においては、再任用を希望する職員のうちから団体の役職にふさわしい人材を候補者として推薦していますが、採用の可否は団体において行っています。</p>
<p>② 雇用対策について</p> <p>○ 今、不景気で働きたくても働けない方がたくさんおられますので、何とか職につけるようにはならないでしょうか。また、八尾市は、大きな企業が離れていってますが、逆に企業を誘致して、仕事を増やしていただくような事はできないでしょうか。</p>	<p>○ 現在、西武百貨店の横に八尾市ワークサポートセンターを国と八尾市とで設置しています。また、緊急経済雇用対策ということで、今年度は、約延べ6,000人/日ほどの雇用の創出をさせていただいていますが、全員になかなか行き渡らないのが現状です。企業誘致についても、大阪府の補助制度であるとか八尾市の補助制度を使いながらやっています。それ以外にも、八尾市産業振興基金条例がありまして、中小企業支援のための検討をしています。</p>	<p>○ 市民の雇用対策として現在、八尾市ワークサポートセンターでは勤労者の権利を守るため「勤労者法律相談事業」を行っております。また単に求人情報や職業紹介に留まらず、失業者への就職支援として、専門のコーディネーターによる就労相談や就職フェスタ等を実施し、就業機会の拡大に努めています。今後もその時々の方情に応じた雇用支援対策の実施をめざしていきます。</p> <p>また、市では工場立地支援制度として「八尾市ものづくり集積促進奨励金制度」を創設し、ものづくり企業が市内の工場地域へ進出しやすくする仕組みをつくっております。</p> <p>市内に企業が集積し、発展することは、市にとっても税収面や雇用面においても極めて重要と考えておりますので、今後も企業の誘致はもとより、市内中小企業の支援を積極的</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
<p>③ 八尾市職員の退職金について</p> <p>○ 退職手当債ということで、借金をして職員の人に退職金を払っていることを知りました。2,200億円もの借金がある市の職員が、借金をして退職金をもらうことが納得できませんし、国も政権交代したので、市もこれまでのやり方に固執せず、借金する前に借金を減らすということを考えるべきではないでしょうか</p>	<p>○ 退職手当債は12億円位ですが、退職金を現金で払うよりも利率の低い退職手当債を起債して、利率の高いものから借り替えることで全体の金利を減らすということは、行政として努力しなければならないことと思っています。退職手当債を借りて払っているという状況ですが、それは全体の資金運用の中での手段であると考えています。また、他の起債は償還をしていますので借金は減ってきています。</p>	<p>に進めてまいります。</p> <p>○ 退職手当債は、団塊世代の大量退職による、退職手当の増加に対し、定員削減などによる今後の人件費削減効果額の範囲内で、起債するものです。</p> <p>また、借金の残高の推移につきましては、毎年の元金償還額が新たな借入額を上回るため減少が続くと見込まれますが、今後もさらに事業の精査を行うとともに、繰上償還などにより、残高の減少に努めてまいりたいと考えています。</p>
<p>④ 若い世代の意見を聞く場について</p> <p>○ これからのまちづくりを考える時には、子育て世代や若い人たちの意見を聞くような場を是非、市の方で考えていただけたらと思います。これからの龍華地区のまちづくりを考えていくための組織化をぜひ市のほうで検討していただきたいと思います。</p>	<p>○ タウンミーティングに若い方や子育て中の世代の人たちが非常に多く参加される地域もあります。そういう地域では、学校の子どもの教育や子育てなどに議論が進んでいきます。私自身もそういう世代に参加いただく必要があると認識をしていますので、担当のコミュニティ推進スタッフに学校のPTAや就学前の子どもがいる皆さん方のご意見をぜひ聞いていきたいと話しています。</p>	<p>○ 地域では、自治振興委員会のほか、分野別活動団体を構成員とする地区福祉委員会の様々な話し合いの場が持たれ、住民懇談会なども開催され、地域についての話し合いをしていただいていることと思いますので、それらをご活用いただければと思います。また、年齢や立場を超え、より横断的に広く話し合いの場をもたれるという場合、市より地域経営アドバイザーを派遣する制度等もありますので、地域でご検討いただきコミュニティ推進</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
		<p>スタッフ等にご相談ください。</p> <p>○ まちづくりについて色々な意見を交わせる場作りは、地域の発展について重要なことであると考えています。他の地域ではラウンドテーブルなどといった地域住民が主体となった話し合いの場を持たれている所もございます。今後地域の皆さんで策定いただく予定の（仮称）わがまち推進計画等を通じて地域の話し合いの場を作っていくことも可能ではないかと考えています。</p>
<p>⑤ 龍華太鼓の活動について</p> <p>○ 龍華太鼓の活動は14年になり、八尾市や地域の行事などのイベントに出演させていただいておりますが、継続していくための問題の解決に協力いただけたらと思います。一つ目が、稽古場の問題で、現在、龍華小学校の多目的室をお借りしていますが、太鼓の運搬の協力が不可欠です。できれば、移動なく太鼓を保管していただけて稽古ができる施設が欲しいと思っています。2番目に運営資金の問題ですが、今まで基金や補助金などで運営してきましたが、補助金は3年、5年経ちます</p>	<p>○ 音が出せる練習場が非常に少ないことは認識をしています。しかし、皆さんが使っていたく施設に特定の団体の物だけを保管するのは難しいと思っています。例えば、コミュニティセンターの建て替えを検討していますので、その中で音を出しても大丈夫な場所ができればと考えています。各種団体への補助金は、行政は基本的にしない方向です。ただ、一方では市民活動支援基金などの市民活動を支援する補助制度がございますので、ぜひ申請していただければと考えています。もう一</p>	<p>○ 各種団体が継続した活動を行うためには、活動場所の確保が大きな課題であるということは認識しております。今回、練習場所の確保にあたり、太鼓の保管ができる施設が欲しいとのことですが、公の施設は、不特定多数の方々を利用されることから、個々の団体の物品をお預かりすることは施設の性質上できませんので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>次に、市民活動支援基金につきましては、自治推進課がご相談の窓口となっております。また、市民活動支援につきましては、市</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
と打ち切られますので、新しい補助金制度がありましたら、紹介いただきたいです。3番目に若いスタッフが必要になっていきますので、協力していただける方があれば申し出ていただきたいです。	つは、八尾市の市民活動支援センター「つどい」には、現在各種団体が200団体位登録されていますので、ぜひ、龍華太鼓もご登録をいただいて、市民活動としてさらに輪を広げていただければと考えています。	民活動支援ネットワークセンター「つどい」を中心に取り組んでおりますので、各種助成金情報については、お気軽にご相談ください。
<p>⑥ 八尾市の財政について</p> <p>○ 八尾市の未来を語るには、財政が関係ないとは言えません。何かをやっていくと約束をする以上は、財政を健全化した上で、こんなことができますというのが本筋だと思います。市民一人当たり60万円の負債があると聞きますが、借金をして物を造るという時代ではなく、今後はハードからソフトにシフトしていく必要があると思います。</p>	<p>○ 財政は行財政改革の中で健全化に進んでおり、これからも行財政改革をさらに進めていく中で、新しい財源を生み出して新しい投資をするというのが基本的スタンスだと思っています。ただ、借金を健全化に向けて減らしていく一方で、例えば公共下水道や道路、駅舎などの長期間使われていく施設については、世代間で公平に負担をする必要もあると思っています。</p>	<p>○ 財政運営につきましては、20年2月に策定いたしました「八尾市行財政改革プログラム」により財政の健全化を引き続き進め、健全な財政運営に努めてまいりたいと考えています。</p> <p>平成20年度末時点で市民一人当たりの借金は、約80万円です。今後の残高の推移については、毎年の元金償還額が新たな借入額を上回るため減少が続くと見込まれますが、今後もさらに事業の精査を行うとともに、繰上償還などにより、残高の減少に努めてまいりたいと考えています。</p>
<p>⑦ 旧市立病院の跡地の問題について</p> <p>○ 旧市立病院の跡地について、工事も進んでいるようですが、青写真がわかりません。保育所ができるかコミュニティセンターが建つかという話は聞きますが、工程などが地元で</p>	<p>○ 旧市立病院の跡地については、全体で約18,000㎡ありまして、国道25号沿道は、国に売却をして、国に道路整備をしていただきます。東側の府道に面した部分は、大阪府と</p>	<p>○ 市立病院跡地につきましては、跡地北西部に龍華コミュニティセンター及び地域図書館の整備を予定しております。また、その南側にあたる跡地南西部には、(仮称)新亀井保育</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
<p>全然わかりませんので、そういう対策をしつかりしていただきたいです。また、通学路に監視カメラを設置することを考えていますか。</p>	<p>協議をしており、歩道を大阪府に整備していただく方向で検討しています。龍華中学校の東側は、工事が始まっているところですが、2,500㎡位の敷地に保育所を建設中で、来年の4月1日開園の予定です。保育所の北側、国道25号との間は、少し長細くなりますが、ここに約3,000㎡位の敷地を確保して、この龍華コミュニティセンターを建て替える予定です。それ以外に約1,100㎡位の公園を作って、残り約9,000㎡から10,000㎡位を売却をしていきたいと考えています。口頭では、わかりづらいですので、地域の皆さん方にご理解をいただけるような図面を配れるように考えていきたいです。</p> <p>○ 監視カメラの設置は、プライバシーの問題もあり考えていませんが、学校との間は緑道で自動車の通行は出来ません。</p>	<p>所の整備が始まっており、平成22年4月に開所予定となっております。また、保育所の東側には、約1,100㎡の公園を設置することとしております。</p> <p>残りの跡地東側約9,300㎡につきましては、民間活力を利用し、住宅及び商業施設を中心として周辺居住環境と調和した、市民の利便性を高める民間施設の導入を図るため、現在、事業者募集に向けた取り組みを進めているところでございます。</p> <p>(タウンミーティング終了時に整備計画イメージ図を配布しました。また、整備計画については、八尾市ホームページでも公表しています。)</p>
<p>⑧ 小学校の校区について</p> <p>○ 太子堂は、小学校区で龍華小学校に約3分の1、亀井小学校に約3分の2が通っています。それが、小学校の子ども的人数や小学校の規</p>	<p>○ 八尾市内には、中学校が15校、小学校が29校、特別支援学校が1校あります。その中で1番小さい小学校は180人位、1番大き</p>	<p>○ 小・中学校については平成20年に「小中学校適正規模等審議会」を立ち上げ、今後の児童生徒数の推移や傾向、課題等を含めて検討を</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
<p>模などによってこうなつたと推測しますが、今度、久宝寺のところに高層マンションができると子どもの人数のバランスが変わるので、太子堂の真ん中位にある校区の境界線を久宝寺の駅から大正の方へ延びている大きな道路に変更するようなことを考えておられるのか。太子堂の年配の者は、できれば30年前の太子堂のように一つのかたまりに戻して欲しいと考えていますが、市長は、どのように考えておられるのか現状を教えてください。</p>	<p>いところは1300人位で、中学校でも同様に130人位の中学校もあれば、700人位の学校もあります。そういう状況の中、昨年からは小学校と中学校の適正規模のあり方検討をしており、八尾市立小・中学校適正規模等審議会を開催しています。八尾市全体を見据えた中で小学校と中学校の適正規模、通学区をどこで線を引き直すかということを考えなければならないと思っています</p>	<p>進めているところです。審議会ではよりよい教育環境を整備し、充実した学校教育を実現するために、市立小・中学校の学校規模等の適正化についての基本的な考え方、および適正化の方策等について平成22年8月に提言を行う予定です。</p>
<p>⑨ コミュニティセンターの建て替えについて</p> <p>○ 旧市立病院にコミュニティセンターが移転したあと、この建物の利用計画はどうされますか。高齢者には、3階まで上がるのがしんどいということと、夜になると階段が暗いです。今どのような考え方をしておられるのか、お聞きしたいと思います。</p>	<p>○ コミュニティセンターについては、地域の皆さんにアンケートなどでご意見をいただきまして、八尾市もその方向でコミュニティセンターを旧市立病院に移転するという方針を決めました。そして、どういう機能が必要かという議論もしています。財政的な問題でいうと、今投資的経費の平準化を図っていきまして、老朽化した施設や市民の生活に必要な施設、子供たちの命に係わる学校、体育館などの施設については、維持補修をしていく必要があるため、いつ建て替えができるか未定ですが、</p>	<p>○ 龍華コミュニティセンターの老朽化、バリアフリー化等への対応として、市立病院跡地へ移転整備を行うこととしています。整備にあたりましては、コミュニティセンターの機能等につきまして、地域の皆様と協議を行いながら進めていきます。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
	いろんなご意見をしっかりと聞いて本当に地域に喜んでいただける施設にしたいと考えています。	